

# 平成22年度 志高祭水泳部シンクロ公演

ページ作成：盛岡四高 HP 制作委員 中嶋 徹（水泳部員）

去る8月27日と28日の二日間、志高祭が行われました。  
たくさんのお出し物、ステージ発表があり、非常に盛り上がりました。  
今回は、その中から、僕たち水泳部の、「ウォーターボーイズシンクロ公演」を  
ピックアップしたいと思います。



これが目印の看板です。装飾が鮮やかですね。これは女子の先輩方が、わざわざ作ってくださったものです。お忙しい中、どうもありがとうございました。

## 8月27日

校内公開日の初日は、時間の関係上1公演となりました。  
残念ながら写真はありますが、練習を重ねた甲斐もあって、まずまずの反応を得られました。

これは明日も頑張らないといけないな、と思いました。

## 8月28日

二日目は、学校外から数多くのお客様がお見えになっていました。  
それに影響されるように、売店の先輩方もヒートアップ！

ライバルには負けていけない、と言わんばかりに少しでも売り上げを伸ばすべく、暑さにも負けずお客様を呼んでいました。

僕なら絶対に、耐えられないと思います・・・やっぱり先輩方はすごいな、と思いました。

そして、シンクロ公演も後半戦！！

この日は4公演になりました。今日は昨日とは一味違うパフォーマンスで観客を湧かせたいです。



ここにも、「WATER BOYS」の文字！！・・・あれ？「志」？  
実はこの「志」、O先生が貼ってくださったものです。なんだか、ものすごいマッチしている気が・・・

そんなこんなで、公演スタート！！

水泳部の先輩方と一緒に走りまして、さっきの「WATER BOYS」の前に並び・・・



ポーズ！！この体勢、少しツライです・・・・  
そして、そのままオープニング。

オープニングが終わると音楽が切り替わって、「SUGAR BABY LOVE」に入ります。

「入水！」の合図のあと飛び込みます！！  
踏み台ジャンプをした後に、



連続ジャンプ！！写真では分かりにくいですがこれ、隣の人が飛んだのを見計らって飛んでいます。タイミングがやや難しいです。  
そして、前に移動して・・・



シンクロといえばこれですね。足だけ水面から出す！！  
足を出すだけならまだなんとかありますが、このあと隊形移動があるので、息継ぎなしで潜ってそのまま移動します。苦しいです・・・  
そのまま演技続行。そして、回転しながら潜って再び隊形変更します！！



これはさっきと違って息継ぎできるので少し助かります。(それでも苦しいですけど・・・)

そして、次の曲に移ります。  
三曲目は、手拍子から始まります。会場のお客さんの方々も、一緒になって手拍子で盛り上げてくれました。



三曲目は、隊形の変更が激しい曲です。V字型になったかと思えば円形になったりします。

V字型になる時、僕は先頭になる役なので、責任重大でした。練習のとき、何回も位置を間違えたりしました。あと、もちろん反対側の先頭にいる先輩と横列をあわせなければいけないのですが、天気が悪いと水が濁ってよく見えません。この日は運よく晴れたので、よかったですと思います。

水面からの足だしパフォーマンスをしたら、潜ってそのまま移動して、いよいよ陸パフォーマンスに入ります。

陸パフォーマンスの一曲目は、ポッキーのCMでおなじみ、「じょいふる」。プールから上がるのところから始まります。CMのように、盛り上げていきます！！

お客さんの反応も上々でした。

CMでは簡単そうに見えますが、そんなわけもなく、覚えるのにかなり苦労しました。CMで踊っている人たちは、相当な練習を積んだのでしょう。

この「じょいふる」、振り付けがなかなか難しくて、覚えるのに苦労しました。何度間違って先輩たちに怒られたのでしょうか・・・本当にすいませんでした。

じょいふるが終わったら、陸パフォーマンス最後の曲、「桃色片思い」に入ります。

かなり気持ちが高ぶる曲です。踊っていて楽しくなりました。

最後は**ピース！！**で締めたら、またプールに飛び込みます！！

最後の曲は、ドラマ「ウォーターボーイズ」でもおなじみ、福山雅治の「虹」。まさにシンクロのためにある曲と言っても過言ではないと思います。

土台ジャンプ、足出し、後ろジャンプと、シンクロの醍醐味とでも言うべきパフォーマンスが凝縮されています。

少し難しかったですが、やっていて楽しかったです。

最後は、ゴーグルを天高く放り投げて、公演が終了しました。

## 感想

最初に練習をしたときは、難しくて何度やっても失敗ばかりでした。そのせいで何度も何度も先輩に迷惑をかけて、本当に申し訳ありませんでした。

しかし、難しかった分、終わった時にはものすごい達成感がありました。やっぱり、人と協力してひとつのものを作り出すということは、それだけ大きな達成感を生み出すのだ、と改めて思いました。

先輩方、いろいろと迷惑をかけて本当に申し訳ありませんでした。そして、お忙しい中、こんな僕に教えてくださり、ありがとうございました。